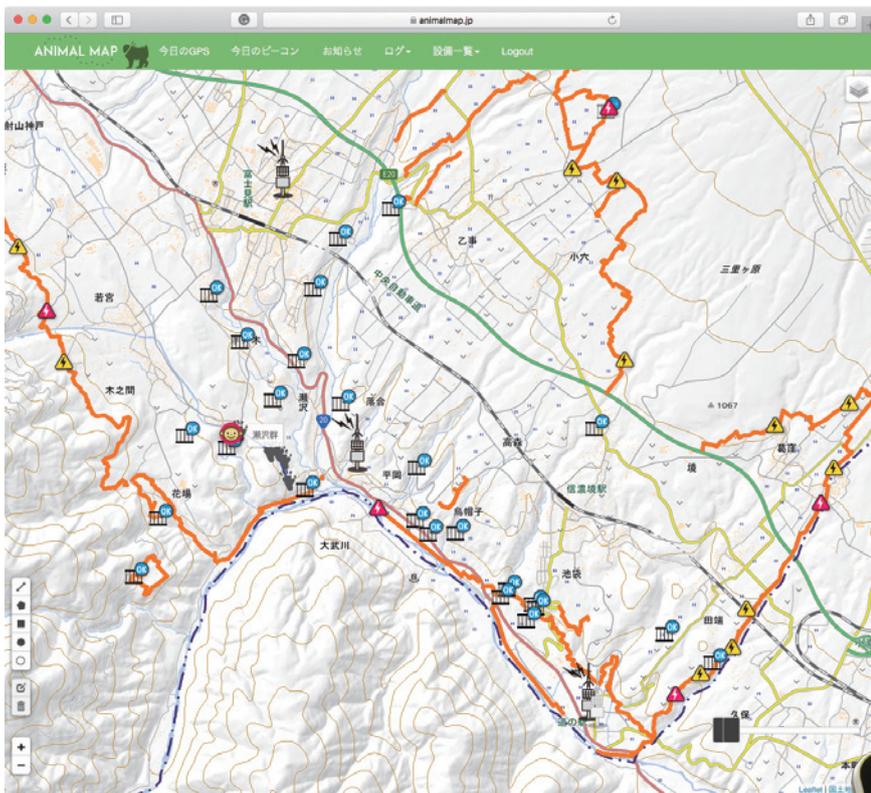


運用事例

長野県富士見町

総務省平成28年度補正予算 「ICTまち・ひと・しごと創生推進事業」
富士見町 「野生動物被害対策モニタリングシステム高度化事業」

サルへのGPS首輪装着による位置情報のモニタリングと
電気柵・わなセンサーの設置による捕獲や電気柵管理などの被害対策とを併せ、総合的な対策を進めました。



ANIMAL MAPで…

 **サルの位置情報**

 **電気柵の異常**

 **罠の作動状況**

パソコン・スマホから
簡単に確認できる!

GPS首輪により、サルの行動範囲や出没状況など群れの管理が容易になり
追ひ払いなどの被害対策と併せて鳥獣被害が軽減しました。

さらに、現地に行かずにPCやスマホで知りたい情報を確認できるので
電気柵・檻の維持管理、見回りの労力が大幅に軽減されました。